

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○			○	○			○				○

企業の概要

企業・団体名	社会保険労務士法人NSR	本社所在地	大阪市
業種	専門・技術サービス業	総従業員数	5人
事業概要	社会保険労務士事務所		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	ガイドラインと労使協定
テレワーク担当部署	テレワークスタイル推進室
テレワーク対象者	全員
実施者数	5人
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

2011年9月にトライアル導入後、テレワークが職員にはなかなか進まなかった。その理由は、作成する役所への届出書類が「紙」が必須であったことと、個人情報を取扱うため自宅へ「個人情報」の持ち帰りに不安を感じていたためであった。ところが2020年新型コロナウイルス感染拡大を受けて同年3月2日に会議をもって試行導入を止め「在宅勤務」を制度として導入を決定し、在宅勤務を推奨した。同年4月13日より「公共交通機関の通勤を禁止」を決定し、在宅勤務を原則とした。同年6月1日からは出勤を緩和すると同時に新型コロナウイルス感染防止対策として、大幅な時差出勤制度を創設した。

テレワークの概要・特徴

試行導入は「半日在宅勤務」と「半日年次有給休暇」の部分在宅勤務でスタート

試行導入：2011年(平成23年)9月26日から2012年(平成24年)3月31日

2011年9月27日体験アンケート

来客や訪問セールス、電話もかかってこなかったため、集中して作業ができる環境でした。自宅の机や椅子も長時間作業するのに適した物ではなかったため、会社でするより体が疲れました。

2012年1月16日体験アンケート

電話も訪問者も無く、子供が学校で居ない午前中に行いましたので集中できました。仕事をするほどのスペースありません。今回は資料が少なかつたので苦勞はありませんでしたが、次回からはそのような準備も必要だと感じました。

在宅勤務と有休取得対策「半休・半tele」2011年よりNSR提言！

午前テレワーク	午後半日有給休暇	自由時間
	午後テレワーク・午前半日有給休暇も可能	

月に半日のスモールスタートなら誰でもテレワーク可能。遠隔操作やコミュニケーションに慣れBCP対策実現

「子供のPTA行事」「地域の自治会行事」「役所や行政の手続」など半日程度で済む用事がある日

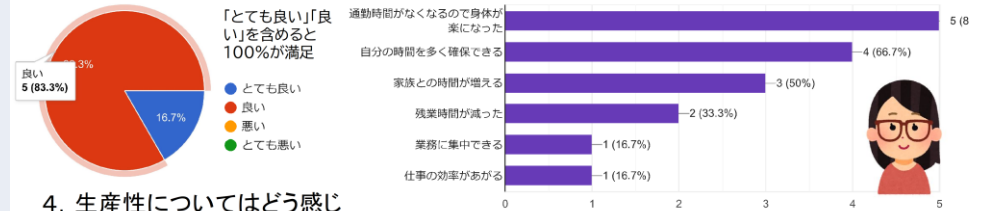
自由時間の確保リフレッシュ 社会生活/家庭生活/個人生活の充実

通勤時間ロス 通勤しない

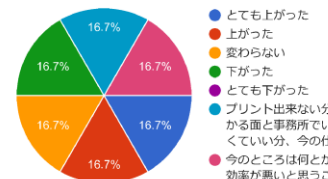
通勤時間ロス 通勤しない

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

1. テレワークをした感想は？ 2. テレワークを行って良かったことは？(複数回答)



4. 生産性についてはどう感じましたか？



3. テレワークで感じた課題は？(複数回答)

- 1位「プリンタやスキャナがなく、紙の書類のやり取りができない」
- 2位「家族に気を遣う」
- 3位~6位「社内の報告・連絡・相談がうまくできない」「自宅に作業スペースがない」「作業に適したデスク、椅子がない」「同僚に気を遣う」